



クラスタ ONTAP Select

NetApp
February 11, 2026

目次

クラスタ	1
ONTAP Selectクラスタの管理	1
ONTAP Selectクラスタのオフラインとオンラインの切り替え	1
ONTAP Selectクラスタを削除する	1
Deployクラスタ設定をリフレッシュ	2
ESXi または KVM ホスト上のONTAP Selectクラスタを拡張または縮小する	3
ハードウェアとストレージに関する考慮事項	3
クラスタを拡張	4
クラスタを契約する	5

クラスタ

ONTAP Selectクラスタの管理

ONTAP Select クラスタを管理するために実行できる関連タスクがいくつかあります。

ONTAP Selectクラスタのオフラインとオンラインの切り替え

作成したクラスタは、必要に応じてオフラインやオンラインに切り替えることができます。

作業を開始する前に

作成されたクラスタの初期状態はオンラインです。

手順

1. 管理者アカウントを使用して、 Deploy ユーティリティの Web ユーザインターフェイスにサインインします。
2. ページ上部の * クラスタ * タブをクリックし、リストから目的のクラスタを選択します。
3. をクリックします クラスタの右側で、 * オフラインにする * を選択します。

オフラインオプションを使用できない場合は、クラスタがすでにオフライン状態になっています。

4. ポップアップウィンドウで [はい] をクリックして、リクエストを確定します。
5. クラスタがオフラインになっていることを確認するには、 * Refresh * をクリックします。
6. クラスタをオンラインに戻すには、をクリックします をクリックし、 * オンラインにする * を選択します。
7. クラスタがオンラインになっていることを確認するために、 * Refresh * をクリックすることができます。

ONTAP Selectクラスタを削除する

不要になった ONTAP Select クラスタを削除できます。

作業を開始する前に

クラスタをオフライン状態にする必要があります。

手順

1. 管理者アカウントを使用して、 Deploy ユーティリティの Web ユーザインターフェイスにサインインします。
2. ページ上部の * クラスタ * タブをクリックし、リストから目的のクラスタを選択します。
3. をクリックします クラスタの右側で、 * Delete * を選択します。

削除オプションを使用できない場合は、クラスタがオフライン状態になってしまふ。

4. クラスタがリストから削除されたことを確認するために、「 * Refresh * 」を時々クリックします。

Deploy クラスタ設定をリフレッシュ

ONTAP Select クラスタを作成したあと、ONTAP またはハイパーバイザー管理ツールを使用して、Deploy ユーティリティ以外でクラスタまたは仮想マシンの設定を変更できます。仮想マシンの構成は、移行後に変更することもできます。

クラスタまたは仮想マシンに対するこれらの変更が発生しても、Deploy ユーティリティの設定データベースは自動的には更新されず、クラスタの状態と同期していない可能性があります。これらの状況およびその他の状況では、クラスタの現在の状態に基づいて Deploy データベースを更新する必要があります。

作業を開始する前に

必要な情報

次の項目を含む、クラスタの現在の設定情報を必要です。

- ONTAP 管理者のクレデンシャル
- クラスタ管理 IP アドレス
- クラスタ内のノードの名前

クラスタが安定した状態

クラスタが安定した状態である必要があります。クラスタを更新できないのは、クラスタを作成中または削除中、あるいは `_create_failed_or_delete_failed_state` のときです。

VM の移行後

ONTAP Select を実行する仮想マシンを移行したら、クラスタの更新を実行する前に、Deploy ユーティリティを使用して新しいホストを作成する必要があります。

このタスクについて

クラスタの更新を実行し、Web ユーザインターフェイスを使用して Deploy 構成データベースを更新できます。



デプロイ UI を使用する代わりに、デプロイ CLI シェルの `cluster refresh` コマンドを使用してクラスターを更新できます。

クラスタと仮想マシンの構成

変更可能な設定値と、原因 Deploy データベースが同期しないようにする設定値には、次のものがあります。

- クラスタ名とノード名
- ONTAP のネットワーク構成
- ONTAP のバージョン（アップグレード後）
- 仮想マシン名
- ホストのネットワーク名
- ストレージプール名

クラスタとノードの状態

ONTAP Select クラスタまたはノードが正常に動作しない状態になっている可能性があります。クラスタの更新処理を実行して、次の条件を修正する必要があります。

- ONTAP Select ノードの状態が不明な場合は、ノードが見つからないなど、いくつかの理由でノードの状態が不明である可能性があります。
- クラスタの電源がオフになっている場合、Deploy ユーティリティではオンラインとして表示されることがあります。この状況では、クラスタの状態は `_degraded_state` です。

手順

1. 管理者アカウントを使用して、Deploy ユーティリティの Web ユーザインターフェイスにサインインします。
2. ページの左上にある * クラスタ * タブをクリックし、リストから目的のクラスタを選択します。
3. をクリックします  ページの右側で、 * Cluster Refresh * を選択します。
4. [* Cluster Credentials] で、クラスタの ONTAP 管理者パスワードを指定します。
5. [* 更新 *] をクリックします。

完了後

処理が成功すると、「Last Refresh」フィールドが更新されます。クラスタの更新処理が完了したら、Deploy の設定データをバックアップする必要があります。

ESXi または KVM ホスト上のONTAP Selectクラスタを拡張または縮小する

ESXi および KVM ハイパーバイザー ホストの既存のONTAP Selectクラスタのクラスタサイズを増減します。どちらのホスト タイプでも、クラスター サイズを 4 ノードから 12 ノードの間で増分して増減できます。

次のクラスターの拡張と縮小は、ESXi および KVM ホストではサポートされていません。

- 1 ノードまたは 2 ノードのクラスターから 6 ノード、8 ノード、10 ノード、または 12 ノードのクラスターへの拡張。
- 6、8、10、または 12 ノードのクラスターから 1 または 2 ノードのクラスターへの縮小。

クラスター内のノード数を、クラスターの拡張または縮小でサポートされないサイズに変更するには、次のタスクを実行する必要があります。

1. 新しいマルチノードクラスタを展開するには、 "[CLI](#)" または "[ウェブUI](#)" ONTAP Select Deploy 管理ユーティリティに付属しています。
2. 該当する場合は、次の方法でデータを新しいクラスタに移行します。 "[SnapMirrorレプリケーション](#)"。

クラスタの拡張および縮小手順は、CLI、API、または Web インターフェイスを使用して、ONTAP Select Deploy から開始します。

ハードウェアとストレージに関する考慮事項

クラスターの拡張および縮小機能は、次の KVM および ESXi ハイパーバイザー ホストでサポートされています。

ESXi

ONTAP Select 9.15.1 以降では、ESXi ハイパーバイザーホストでクラスタの拡張と縮小がサポートされます。

クラスタの拡張と縮小は、次の ESXi ハイパーバイザーバージョンでサポートされています。

- ESXi 9.0
- ESXi 8.0 U3
- ESXi 8.0 U2
- ESXi 8.0 U1
- ESXi 8.0GA

KVM の略

ONTAP Select 9.17.1 以降では、KVM ハイパーバイザーホストでクラスタの拡張と縮小がサポートされます。

クラスターの拡張と縮小は、次の KVM ハイパーバイザーバージョンでサポートされています。

- Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 64-bit 10.1、10.0、9.7、9.6、9.5、9.4、9.3、9.2、9.1、9.0、8.8、8.7、および 8.6
- Rocky Linux 10.1、10.0、9.7、9.6、9.5、9.4、9.3、9.2、9.1、9.0、8.9、8.8、8.7、および 8.6

クラスタを拡張

クラスタ拡張機能を使用して、既存のONTAP Selectクラスタのサイズを拡大します。

ESXi または KVM ホスト上の既存のクラスターのサイズは、次の増分単位で増やすことができます。

- 4ノードから6、8、10、12ノードまで
- 6ノードから8、10、12ノードへ
- 8ノードから10または12ノードへ
- 10から12ノード

このタスクについて

クラスタ拡張の準備として、新しいESXiおよびKVMホストがインベントリに追加され、新しいノードの詳細が割り当てられます。クラスタ拡張プロセスを開始する前に、ネットワーク事前チェックによって、選択された内部ネットワークが検証されます。

作業を開始する前に

- マルチノードクラスタを展開する場合は、ネットワーク接続チェッカーの使い方を理解しておく必要があります。ネットワーク接続チェッカーは、["ウェブUI"](#)または["CLI"](#)。
- 新しいノードのライセンスの詳細を確認します。

手順

1. 管理者アカウントを使用して、Deploy ユーティリティの Web ユーザインターフェイスにサインインしま

す。

2. ページ上部の*[クラスタ]*タブを選択し、リストから目的のクラスタを選択します。
3. クラスタの詳細ページで、ページの右側にある歯車アイコンを選択し、*[クラスタの拡張]*を選択します。
4. [HA Pair 4*]セクションに移動します。
5. 4番目の HA ペアに対して、次の高可用性 (HA) ペア構成の詳細を選択します。
 - インスタンスタイプ
 - ノード名
 - カンレンフハイパーバイザーホスト
 - ノードのIPアドレス
 - ライセンス
 - ネットワーク構成
 - ストレージ構成 (RAIDタイプとストレージプール)
6. [HAペアの保存]*を選択して、構成の詳細を保存します。
7. ONTAP認証情報を入力し、[Expand Cluster] を選択します。
8. を選択し、[実行]*を選択してネットワークの事前確認を実行します。

ネットワークの事前チェックでは、ONTAPクラスタトラフィック用に選択した内部ネットワークが正常に機能しているかどうかを検証します。

9. を選択してクラスタの拡張プロセスを開始し、ダイアログボックスで[OK]*を選択します。
クラスタが拡張されるまでに最大45分かかることがあります。
10. 複数の手順で構成されるクラスタ拡張プロセスを監視して、クラスタが正常に拡張されたことを確認します。
11. 処理の進捗状況の定期的な更新については、*[イベント]*タブを参照してください。ページは一定の間隔で自動的に更新されます。

完了後

クラスターを拡張した後は、["ONTAP Select Deploy構成データをバックアップする"](#)。

クラスタを契約する

クラスタ縮小機能を使用して、既存のONTAP Selectクラスタのサイズを縮小します。

ESXi または KVM ホスト上の既存のクラスターのサイズは、次の増分単位で縮小できます。

- 12ノードから10、8、6、または4ノードへ
- 10ノードから8、6、または4ノードへ
- 8ノードから6ノードまたは4ノードへ
- 6ノードから4ノードへ

このタスクについて

手順の実行中にクラスタを縮小する準備として、必要に応じてクラスタ内のノードのHAペアが選択されます。

手順

1. 管理者アカウントを使用して、 Deploy ユーティリティの Web ユーザインターフェイスにサインインします。
2. ページ上部の*[クラスタ]*タブを選択し、リストから目的のクラスタを選択します。
3. クラスタの詳細ページで、ページの右側にある歯車アイコンを選択し、 *[Contract Cluster]*を選択します。
4. 削除するHAペアのHAペア構成の詳細を選択してONTAPクレデンシャルを指定し、 *[Contract Cluster]*を選択します。

クラスタが契約されるまでに最大30分かかることがあります。

5. マルチステップのクラスタ収縮プロセスを監視して、クラスタが正常に収縮したことを確認します。
6. 処理の進捗状況の定期的な更新については、 *[イベント]*タブを参照してください。ページは一定の間隔で自動的に更新されます。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。